

(別紙様式)

## 平成25年度魅力ある学校づくり調査研究事業ブロック協議会資料

都道府県・政令指定都市教育委員会名〔 岡 山 県 〕

## 1 拠点校及び連携校

区 分	学 校 名	学級数	児童生徒数
拠点校（中学校）	木之子中学校	10（2）	268
連携校 （拠点校中学校区 内の小学校）	稲倉小学校	7（1）	112
	県主小学校	6（0）	70
	木之子小学校	8（2）	132
	荏原小学校	8（2）	117

※学級数の（ ）には、特別支援学級数を内数として記入

※学級数及び児童生徒数は平成25年5月1日現在で記入

## 2 意識調査（アンケート共通項目）

（％）

学校種	学年等	実施時期	児童生徒数 (人)	ア 学校が楽しい				イ みんなで何かをするのは楽しい				ウ 授業に主体的に取り組んでいる				エ 授業がよくわかる			
				1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	前年①	256	57.4	31.6	8.6	2.3	62.5	31.6	3.5	2.3	26.2	58.2	13.7	2.0	20.7	55.1	20.3	3.9
		前年②	245	51.4	30.6	10.6	7.3	57.3	31.1	7.9	3.7	30.6	52.1	13.6	3.7	20.2	50.8	20.7	8.3
		本年①	263	61.6	28.1	7.6	2.7	63.1	27.0	7.6	2.3	31.6	56.3	10.3	1.9	31.6	47.9	15.2	5.3
	3	中2①	97	48.5	35.1	14.4	2.1	53.6	38.1	5.2	3.1	12.4	64.9	20.6	2.1	15.5	48.5	30.9	5.2
		中2②	94	43.6	34.0	12.8	9.6	48.9	37.8	7.8	5.6	20.9	59.3	15.4	4.4	17.6	52.7	22.0	7.7
		中3①	94	47.9	35.1	14.9	2.1	55.3	36.2	7.4	1.1	27.7	58.5	12.8	1.1	18.1	57.4	20.2	4.3
	2	中1①	74	74.3	24.3	1.4	0	75.7	24.3	0	0	31.1	60.8	8.0	0	25.7	63.5	6.8	4.1
		中1②	70	65.7	22.9	5.7	5.7	64.3	24.3	10.0	1.4	31.4	50.0	15.7	2.9	18.6	52.9	18.6	10.0
		中2①	75	60.0	30.7	5.3	4.0	61.3	25.3	8.0	5.3	28.0	57.3	12.0	2.7	18.7	52.0	20.0	9.3
	1	小6①	105	65.7	25.7	7.6	1.0	78.1	14.3	5.7	1.9	36.2	49.5	13.3	1.0	46.7	44.8	7.6	1.0
		小6②	105	63.8	29.5	4.8	1.9	77.1	16.2	4.8	1.9	31.4	52.4	14.3	1.9	53.3	41.0	4.8	1.0
		中1①	94	76.6	19.1	2.2	2.1	72.3	19.1	7.4	1.1	38.3	53.2	6.4	2.1	55.3	35.1	6.4	3.2
小学校	高学年計	前年①	195	64.1	26.2	8.7	1.0	76.9	17.4	4.5	1.0	34.9	49.2	13.8	2.1	45.1	44.1	9.2	1.5
		前年②	193	59.6	31.1	6.2	3.1	79.3	15.0	4.1	1.6	30.1	51.8	15.0	3.1	46.1	45.1	8.3	0.5
		本年①	164	49.4	39.6	7.9	3.0	67.1	25.0	6.1	1.8	35.0	42.9	17.8	4.3	46.3	38.4	12.2	3.0
	6	小5①	90	62.2	26.7	10.0	1.1	75.6	21.1	3.3	0	33.3	48.9	14.4	3.3	43.3	43.3	11.1	2.2
		小5②	88	54.5	33.0	8.0	4.5	81.8	13.6	3.4	1.1	28.4	51.1	15.9	4.5	37.5	50.0	12.5	0
		小6①	88	55.7	37.5	4.5	2.3	65.9	31.8	1.1	1.1	38.6	43.2	13.6	4.5	52.3	35.2	10.2	2.3
	5	小5①	76	42.1	42.1	11.8	3.9	68.4	17.1	11.8	2.6	30.7	42.7	22.7	4.4	39.5	42.1	14.5	3.9

学校種	学年等	児童生徒数(人)	オ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした				カ 暴力ではないが、いじわるをされたり、イヤな思いをさせられた				キ 叩いたり、けったり、強く押したりした				ク 暴力ではないが、いじわるをしたり、イヤな思いをさせた			
			1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
中学校	全学年計	263	87.8	8.7	2.7	0.8	84.4	8.4	3.8	3.4	89.4	6.8	2.3	1.5	88.6	8.4	1.9	1.1
	3年	94	89.4	8.5	2.1	0	84.0	11.7	2.1	2.1	92.6	5.3	1.1	1.1	89.4	7.4	2.1	1.1
	2年	75	86.7	8.0	4.0	1.3	86.7	2.7	6.4	4.0	88.0	4.0	5.3	2.7	86.7	8.0	2.7	2.7
	1年	94	87.2	9.6	2.1	1.1	83.0	9.6	3.2	4.3	87.2	10.6	1.1	1.1	89.4	9.6	1.1	0
小学校	高学年計	164	67.1	22.0	4.3	6.7	59.8	25.0	8.5	6.7	67.1	22.6	7.9	2.4	61.6	25.6	5.5	7.3
	6年	88	75.0	18.2	2.3	4.5	63.6	23.9	8.0	4.5	73.9	17.0	8.0	1.1	67.0	23.9	4.5	4.5
	5年	76	57.9	26.3	6.6	9.2	55.3	26.3	9.2	9.2	59.2	28.9	7.9	3.9	55.3	27.6	6.6	10.5

※小学校は連携校の合計

※実施時期の第1回(①)は5月ごろ、第2回(②)は12月ごろに実施

※「オ」～「ク」の項目の調査は平成25年度から実施

### 3 課題・目標・取組

課題	小規模の集団環境を甘受しており、状況に応じた発言や行動をする力が育っていない。
目標	自己有用感を実感するとともに、互いに認め合い、主体的に活動する児童生徒を育成する。
取組	児童生徒の自己有用感の育成と児童生徒一人一人が居場所のある学校づくり。校種間の情報連携・行動連携の促進と交流活動の充実。

### 4 意識調査結果の分析

#### (1) 好ましいと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア 学校が楽しい」の肯定的回答(当てはまる・どちらかと言えば当てはまる)が小学校で89%、中学校で89.7%と高い数値を示している。</li> <li>「イ みんなで何かするのは楽しい」の肯定的回答が90%を上回っている。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア～エの項目で、中学1年の肯定的な答えがどれも90%を上回っている。</li> <li>オ～クの項目の暴力やいじわるをされたり、したりした生徒の割合が低い。</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ア 学校が楽しい」「イ みんなで何かするのは楽しい」の肯定的な答えが6年生で90%を上回っている。</li> </ul>

#### (2) 好ましくないと思われる事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業に関するウとエの項目の否定的な答え(どちらかといえば当てはまらない・当てはまらない)の割合が12%～23%で、授業に主体的に取り組めてなく、授業がわからないと感じている。</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>「エ 授業がよくわかる」の否定的な答えが中学2年生で29.3%、中学3年生で24.5%、全体で20.5%いる。</li> </ul>

小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての項目で、6年生より5年生の答えが好ましくない傾向にある。</li> <li>「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」の否定的な答えが5年生で26.6%いる。</li> </ul>
-----	--

## 5 取組事項

小・中共通	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 小・中共通テーマ「一人一人が生き生きと活動できる授業づくり」に取り組む</li> <li>② 中学校区共通の9年間を見通した「学習の手引き」の活用</li> <li>③ 小・中の交流活動</li> </ul>
中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 木之子 HAPPY 集会</li> <li>② 学校行事</li> <li>③ 小学校での出前授業</li> <li>④ 一人一鉢</li> </ul>
小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 望ましい人間関係づくり</li> <li>② 小・小の連携</li> </ul>

## 6 取組内容

### (1) 事業実施計画書に記載した月別実施内容

月	小学校で行う主な内容	実施状況	中学校で行う主な内容	実施状況
4月	1年生を迎える会（全小学校）	○	オリエンテーション（1年） 第1回連絡協議会〔東京〕（小・中）	○ ○
5月	第1回意識調査（全小高学年）  授業公開（荏原小）	○  ◇	小中合同研修会（小・中） 第1回意識調査（全学年） 第1回小中連絡協議会（小・中） 第1回調査研究委員会（小・中） 市教育委員会訪問（小・中） 一人一鉢 国研調査官訪問（小・中）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
6月	人権週間（全小学校） 授業公開（県主小） 授業公開（木之子小） 授業公開（荏原小）	○ ○ ○ ◇	小中合同研修（小・中）	○
7月	出前授業（全小学校） 授業公開（稲倉小） 授業公開（荏原小） 授業公開（県主小） 第2回意識調査（全小高学年）	○ ○ ○ ◇ ○	県・市教育委員会訪問 出前授業 小中合同研修 総合的な学習の時間の発表 木之子HAPPY集会（全学年） 第2回意識調査（全学年） 第2回小中連絡協議会（小・中）	× ○ ○ ○ ○ ○ ◇
8月			第3回小中連絡協議会（小・中） 市教育委員会訪問（小・中） 小中交流活動（代表者） 小中合同研修会（小・中） 研究紀要作成 リーフレット作成	○ △ ○ ○ ○ △

9月	出前授業（全小学校） 授業公開（稲倉小）	出前授業 体育会（全学年・小学生オープン参加）
10月	交流クラブ（木之子小・荏原小） 出前授業（全小学校） 授業公開（稲倉小・木之子小） 第3回小中連絡協議会	ブロック協議会〔高知〕（小・中） 文化祭合唱コンクール（全学年） 出前授業 授業公開 木之子HAPPY集会（全学年） 第4回小中連絡協議会（小・中）
11月	校区公開授業	一人一鉢 井原市教育委員会指定研究発表会開催 井原市教育委員会訪問（小・中）
12月	人権週間（全小学校） 第3回意識調査（全小高学年）	第3回意識調査（全学年） 第5回小中連絡協議会（小・中）
1月	出前授業（全小学校） 授業公開（稲倉小）	出前授業 リーフレット作成
2月	岡山県教育研究発表大会（発表予定） オープンスクール（全小6年生） 小・小交流活動	第2回連絡協議会〔東京〕（小・中） 第2回調査研究委員会（小・中） オープンスクール
3月	6年生を送る会（全小学校）	第6回小中連絡協議会（小・中）

## （2）8月末までに実施した具体的な取組

### 〔小・中共通〕

#### ① 小・中共通テーマ「一人一人が生き生きと活動できる授業づくり」に取り組む

中学校区全体で授業づくりの研修会や授業公開を行ってきた。この時間の学習内容をはっきりさせるために、授業の流れである「目標」「振り返り」「まとめ」を設定した。併せて中学校区全ての学校、授業で統一して行うためにプレートを作って教室に常設して使用している。特に、「目標（めあて）」の設定を大切にし、自分の考えや課題意識を持ちながら学習に向かうことができるようにした。



中学校では、「言語活動の充実」をテーマとして、グループ学習で自分の考えや気持ちを伝えたりアドバイスしたりする活動などに取り組んでいる。小学校では、表現様式を返還する活動、ペア学習やグループ学習、説明する活動などに取り組んでいる。



#### ② 中学校区共通の9年間を見通した「学習の手引き」の活用

昨年度、中学校区で話し合い、形式を統一した「学習の手引き」を作成した。中学校では入学時のオリエンテーションと新学期の学級活動、各教科の最初の授業、定期テスト前の学級活動などにも使用した。小学校でも新学期の学級活動や学習の節目に使用して学習方法などを指導すると共に、小6の3月には中学校版の手引きを参考に指導している。今後も機会あるごとに活用していきたい。

### ③ 小・中の交流活動

小学生と中学生の交流を通して、豊かな人間性と社会性を育成することと、小学生の中学入学時の不安を軽減し期待感に変え、入学後も互いに相談しやすい関係を築くことを目的に、小中交流活動を行った。

本年度は、夏休みに6年生を対象に部活動の体験や見学を行った。延べ47名の6年生が参加した。アンケートでは、すべての小学生が楽しかったと答え、「丁寧に教えてくれたり、できたときなどにほめてもらったりしてうれしかった」「中学校に行ったら絶対ソフト部に入ります」等の感想があった。中学生からは「教えたことを素直に聞いてくれてうれしかった」等の感想があった。



### 〔中学校〕

#### ① 木之子 HAPPY 集会

生徒会執行部が中心となり計画・立案する、異年齢集団によるスポーツ活動に取り組んだ。人と関わる楽しさを実感し、豊かな人間関係を養うことを目的に実施した。全校を3ブロックに分け3学年混合のチームを作って、ブロック対抗の「ドッジボール大会」を行った。

3年生を中心にチームがまとまり、生き生きと活動できた。アンケートでは、90%以上の生徒が楽しかったと答えた。また、同学年の友達の頑張りを賞賛する感想だけでなく、下級生から「先輩のボールが速くてすごかった」「先輩が『投げる?』と聞いてくれて、ボールを渡してくれてうれしかった」など先輩との関わりに関する感想や、「執行部の皆さんがいちばんがんばっていました。このような会をつくってくれてありがとうございます」など企画運営した生徒会執行部を賞賛する感想も多く見られ、豊かな人間関係を培うための活動となったことがうかがえた。

#### ④ 一人一鉢

自分達の学校環境を自ら整える態度を養い、自然の美しさに触れ、その生命を感じるにより、自他の生命を尊ぶ態度を培うという目的で、全校生徒が一人一鉢、植物を植えて管理を行っている。



### 〔小学校〕

#### ① 望ましい人間関係づくり

昼の休憩時間や長い休憩時間を利用して、月1回程度の縦割り班を活用した班遊びを行っている。6年生が中心となって、1年生も一緒に遊べる遊びを計画し実施している。

#### ② 小・小の連携

中学校入学前に、4小学校の6年生がそれぞれの学校で同じ歌「翼をください」を練習し、中学校入学後の新入生歓迎集会で、1年生全員で歌った。



7 8月末までの取組状況と課題（第1回意識調査結果を踏まえた内容を含む）

（1）順調に進んでいる事項

<p>小・中共通</p>	<p>① 授業改善に向け、合同研修会や公開授業を実施し、共通した流れを明確にした授業に取り組んでいる。また、小・中間の交流も盛んになった。</p> <p>○「エ 授業がよく分かる」の得点推移          中学校全体 2.93(H24.5)→2.83(H24.12)→3.06(H25.5)→3.05(H24.7)</p> <p>○「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」の得点推移          小学校高学年 3.17(H24.5)→3.09(H24.12)→3.09(H25.5)→3.12(H24.7)</p> <p>③ 部活動体験では、中学生は、自分が得意で熱心に取り組んでいる姿を見せたり、小学生に指導したりすることにより、自己有用感を実感することができ、小学生は、部活動に関する不安感を期待感に変えることができたと考えられる。</p> <p>○「① 自分にはよいところがある」の得点推移          中学校3年 2.76(H24.5)→2.65(H24.12)→2.72(H25.5)→2.79(H24.7)</p>
<p>中学校</p>	<p>① 生徒会を中心として、縦割りブロック対抗のスポーツ大会を行った。異年齢集団活動を体験し、人と関わる楽しさを実感することができた。</p> <p>○「イ みんなで何かをするのは楽しい」の得点推移          中学校全体 3.54(H24.5)→3.42(H24.12)→3.51(H25.5)→3.47(H24.7)</p> <p>② 3年生が修学旅行に関する総合的な学習の時間のまとめを、2年生を対象に発表した。3年生は自信をもって伝える力を養うことができた。</p> <p>○「ア 学校が楽しい」の得点推移          中学校3年 3.50(H24.5)→3.12(H24.12)→3.29(H25.5)→3.30(H24.7)</p> <p>○「① 自分にはよいところがある」の得点推移          中学校3年 2.76(H24.5)→2.65(H24.12)→2.72(H25.5)→2.79(H24.7)</p> <p>④ 各学年でそれぞれ違う花を植え育てることで、自分達の学校環境を自ら整える態度を養い、自他の生命を尊ぶ態度を培うことができている。</p> <p>○「キ 叩かれたり、けられたり、強く押されたりした」経験のない割合          中学校全体 87.8%(H25.5)→88.8%(H24.7)</p>
<p>小学校</p>	<p>① 縦割り班での遊び、全校での遊びの時間を充実させたことにより、望ましい人間関係を養ってきている。</p> <p>○「イ みんなで何かをするのは楽しい」の得点推移          小学校全体 3.70(H24.5)→3.72(H24.12)→3.57(H25.5)→3.71(H24.7)</p> <p>② 入学前に同じ歌を練習しそれを入学後に一緒に歌うことで、入学と同時に全員で一つの目的を達成し集団への帰属感が高まった。</p> <p>○「ア 学校が楽しい」の得点推移          中学校6年 3.56(H24.5)→3.55(H24.12)→3.70(H25.5)→3.65(H24.7)</p>

※ 意識調査項目の得点化は、当てはまる：4点、どちらかと言えば当てはまる：3点、どちらかと言えば当てはまらない：2点、当てはまらない：1点として計算した。

## (2) 課題となっている事項

小・中共通	① 「ウ 授業に主体的に取り組んでいる」の質問に否定的な回答をしている児童生徒の割合（中：12.1%、小：22.1%）が比較的高い。更なる授業改善に取り組む必要がある。
中学校	② 「自分には良いところがある」という質問の肯定的な答えの割合（中：62.2%、小：61.9%）がまだ低いので、生徒が主体的に活動し、自己有用感や達成感が感じられる活動にしていく必要がある。 ③ 時間割の関係などで、出前授業に出向く教員の時間の調整が難しい。
小学校	① 行事等の関係で、縦割り班遊びを設定する回数が限られる。また、学年差が大きく、1年から6年まで誰もが楽しめる遊びの選定が難しい。 ○「② 活動には進んで取り組んでいる」の得点推移 小学校高学年 3.46(H24.5)→3.39(H24.12)→3.26(H25.5)→3.20(H24.7)

## 8 9月以降の重点推進事項

小・中共通	① 小・中共通テーマ「一人一人が生き生きと活動できる授業づくり」に取り組む ・ 全ての児童生徒に、授業の流れと目標（めあて）を意識させると共に、ペア・グループ学習等の学習形態を工夫することを継続する。 ② 中学校区共通の9年間を見通した「学習の手引き」の活用 ・ 家庭学習の習慣がついていない児童生徒も多いことから、事あるごとに「学習の手引き」を活用して予習・復習など学習習慣を身に付けさせ、授業への構えを整えていきたい。 ③ 小・中の交流活動 ・ 活動のリーダーだけでなく、下学年の意識をどう高めるかが課題であるので、活動前の意識付けや、活動後の振り返りの活動を大切にしたい取組になるよう工夫する。
中学校	① 木之子 HAPPY 集会 ② 学校行事 ・ 多くの生徒の自尊感情が高まるよう、グループのリーダーだけでなく、行事を準備する過程で努力している生徒や目立たないが全体のために活動した生徒、1・2年生にも焦点を当てた振り返りや評価を行う。 ③ 小学校での出前授業 ・ 可能な限り時間調整を行い、多くの学校・クラスで実施する。
小学校	① 望ましい人間関係づくり ・ 市販の心理検査等の結果も活用しながらクラスの間人間関係等の状態を把握して取組を工夫する。リーダー以外の学年の児童の活動、活躍の場をどう保障するかが課題。 ② 小・小の連携 ・ 来春の中学校入学を睨んだ活動を工夫する。中学校版の「学習の手引き」を活用した指導や、中学校のオープンスクールの機会を活用した小学生同士の交流、昨年行った統一の歌を練習する活動等も行う。

## 9 教育委員会の取組

### (1) 市町村教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・ 教職員へ、事業そのものや取組の趣旨についての周知徹底
- ・ 小小連携，小中連携に向けた支援
- ・ 研究成果の広報、発信の支援

#### 〔成果と課題〕

- 研究発表会の開催による研究成果の発信（11月8日予定）
- 学級集団づくり研修会等の開催

### (2) 都道府県教育委員会

#### 〔重点推進事項〕

- ・ 事業成果の全県への普及の場の設定
- ・ 事業内容等への客観的視点での指導、支援

#### 〔成果と課題〕

- 不登校対策をテーマ8月に開催した「県生徒指導推進大会」において、木之子中学校区の実践発表の場を設け、県下約300人の学校関係者に紹介できた。
- 意識調査結果を指標化して分析した。
- 市販の集団アセスメントツールの結果を基に、各クラスの状況等について各学校の教員と協議し、2学期以降の取組の方向性について助言した。
- 県教育庁義務教育課、県総合教育センター指導主事の派遣を要請し、学校の授業力向上を支援した。

## 10 関連URL（※本事業に関連するものがあれば、ご紹介ください。）

### 【問い合わせ先】

所属	岡山県教育庁義務教育課 生徒指導推進室		電話	086-226-7589	
職名	指導主事（主幹）	氏名	高橋 典久	よみがな	たかはし のりひさ